

県道矢野安浦線 バイパスのルート変更について

熊野町の東西都市軸である県道（主要地方道）矢野安浦線は、本町の都市づくりの根幹であり、周辺地域との都市機能の連携のため、慢性的渋滞の解消は最重要課題と考えられています。

このため、矢野安浦線の機能強化の目標として、平成3年、本線改良及びバイパスとして、都市計画道路「平谷萩原線」「木綿地馬場線」を都市計画決定し、現在、川角交差点付近までは整備が行われています。

これより東側については、川角出来庭地区区画整理事業と併せてバイパス整備をする計画でしたが、都市が拡大していく「都市化社会」の都市政策から、経済・社会の持続的な発展に視点を置いた「都市型社会」への都市政策の移行など諸般の事情により、今年当初、区画整理事業を断念するにいたりました。

その後県当局と、矢野安浦線バイパスの早期整備について協議を重ねた結果、既決定の川角・出来庭地区のルートは、起伏が大きいという地形的な条件、道路構造上の技術的な問題、費用面、また効率的な沿道利用を推進するという熊野町のまちづくりの観点などから、ルートを変更する方針としました。

以上のことから、下図のとおり、拡幅完了区間から随時供用開始することが可能な現県道を熊野郵便局近くまで拡張し、ここから南下するルートへの変更案を作成しました。このため、11月に都市計画道路変更説明会、12月に案の縦覧を行い、今後、県・町都市計画審議会の審議を経て都市計画の変更を決定し、一日も早い道路完成を目指しています。

(都市整備課TEL 820-5608)



区分	路線名	起点	終点	延長	道路幅員
新	平谷萩原線	大字平谷字大下	宇山ノ代原	約3,090m	25m
旧	〃	〃	〃	約3,110m	〃
新	太中央馬場線	字太中央	字馬場	約1,560m	16m
旧	木綿地馬場線	大字川角字木綿地	〃	約2,090m	〃
新	川角南線(廃止)				
旧	川角南線	大字神田	字障界	約990m	12m